

令和 6 年（2024 年）度 産学官・地域連携活動報告書

連携先名称：全国農業協同組合中央会（JA 全中）

協定締結日：令和 3 年 10 月 4 日

活動状況：継続中

連携先窓口：

活動資金：アイテムを選択してください。

担当教員（所属）：上岡美保（国際食農科学科）

活動体制（単位）：大学

関連教員（所属）：大学全体としての広報的取り組み

活動目的：食と農業の情報発信、食と農業の次世代を担う人材育成、地域の農業や関連産業の振興に必要な技術開発・研究・地域づくり等。

活動内容・成果：

①食と農業の情報発信・次世代を担う人材育成の一環として、2024 年 10 月 19 日（土）「国消国産 知って味わう 秋の収穫祭」東京・丸の内の「KITTE 丸の内」で開催されたイベントにて、国際食農科学科 4 年生 3 名が「東京農大の学生による日本の食や農に関するトークショー」に出演し、林修先生と日本の食料自給率や食育の大切さについて情報発信とディスカッションをした。（写真 1）

②上記同イベントにおいて、食と農業の次世代を担う人材育成・アントレプレナーシップ教育の一環として、東京農大発(株)メルカードが学生の開発した商品や卒業生の関連商品について、PR と販売を行った。

③地域農業・関連産業の振興の一環として、上記同イベントにおいて、(株)農大サポートが東京農大関連ならびに卒業生関連、地域連携関連商品を PR と販売を行った。

④食と農業の次世代の人材育成・毎日農業記録賞に JA 全中とともに本学が協賛として参画するとともに、学長が審査委員としても参画。

⑤食と農業の次世代の人材育成の一環ならびに地域農業・関連産業の振興の一環として、JA 全中・毎日新聞社が主催する「全国高校生農業アクション大賞」に大学として後援として参画するとともに、審査員として上岡美保が参画した。
(写真 2)

⑥JA 全中・NHK 等共催の日本農業賞に国際食農科学科原珠里教授が審査委員として参画した。



(写真 1) 国消国際「秋の収穫祭」



(写真 2) 全国高校生農業アクション大賞

課題・改善点：

毎年、大学生を中心とする若年齢階層の食・農の啓発、次世代育成等を JA 全中と共に実施している。JA グループの様々な取り組みの中で、学生の成長につながるイベントや大学の PR に繋がるイベントへの参画も多く機会をいただいている。

今後の課題や改善点ということは特にないが、引き続き、双方に有益な取り組みを共に進めていきたい。